

記念事業・記念行事

コミュニケーション学部」誕生

入学定員 60名

世界と日本の文化を知る！

ACADEMICS

国内・国外の文化や習慣を理解し、世界の人々とコミュニケーションを図るために必要な知識を身につけます。

HUMAN COMMUNICATION
人間コミュニケーション

コミュニケーション学

英語学

コミュニケーション学や英語学の関連領域の科目を設置。グローバル人材として必要なコミュニケーションの本質を学び、英語という言葉について理解を深めます。

JAPANOLOGY
日本学

伝統文化

現代文化

国際社会に生きる日本人としてのアイデンティティを育むために、日本の社会や文化、伝統について学修。これらを英語で学ぶことで、日本について英語で伝える能力も身につけます。

GLOBAL AWARENESS
グローバル・アウェアネス

地域文化

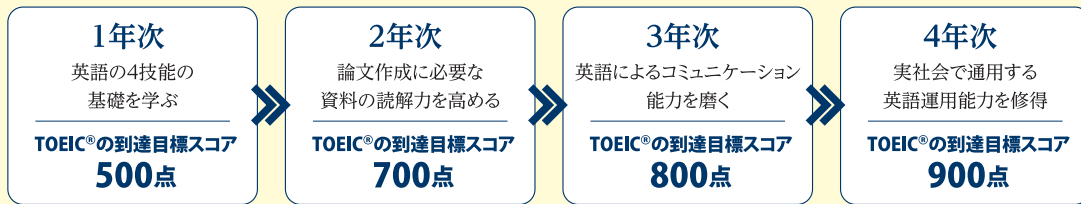
国際社会

世界の文化やビジネスなどについて、英語を用いる環境での実体験に基づいて理解し、グローバルな視点と、社会の諸問題を解決する力を身につけます。

英語運用能力を養う！

SKILLS

グローバル社会であらゆる状況に対応するために必要な英語運用能力、英語コミュニケーション能力、課題発見・解決能力を身につけます。



全員が海外留学！

VALUES

海外の環境に直に触れ、英語で考え、行動するチカラを体験的に学びます。

Intercultural Training
事前研修

海外留学の事前研修として、カルチャーショックや異文化接触について学びます。自分の「あたりまえ」が相手の「あたりまえ」とは異なること、コミュニケーションのとり方もさまざまであることを授業内のアクティビティを通して理解を深めます。

Study Abroad
海外留学(6週間～8週間)

2年次に全員が英語圏の大学において海外留学を実施。留学先の大学では英語集中コースの履修に加え、フィールドトリップや現地の人々と交流する機会も用意しています。早期に留学を実施することにより自分の興味や課題に気づき、今後の方向性を見つけることができます。また、留学費用の一部を大学が負担する予定です。

Internship Abroad
(Tourism/Business/NPO)
海外インターンシップ(2週間)

「Tourism」「Business」「NPO」それぞれの分野における企業や団体などで就業体験をおこないます。文化の多様性を学ぶとともにコミュニケーション能力を向上させ、さまざまな状況や環境に対応する力を身につけます。

※詳細については、大学案内2016または大学ホームページをご覧ください。

名称変更。 定員 300名

【現在の名称】

メディアプロデュース学部
メディアプロデュース学科(300名)
創造表現専修、メディアコミュニケーション専修、
都市環境デザイン専修

【変更後の名称】

創造表現学部 創造表現学科
創作表現専攻……………100名(予定)
メディアプロデュース専攻……………130名(予定)
建築・インテリアデザイン専攻……………70名(予定)

2016年4月、星が丘キャンパスに「グローバル・

GLOBAL CITIZEN 人、地域、世界の架け橋となる“地球市民”へ。

グローバル・コミュニケーション学部では、変化し続ける国際社会で必要となる、幅広い教養と異文化理解力、世界中の人と思いを伝え合う、高度な英語コミュニケーション能力を備えた、英語で考え、世界の人々と共に行動できる“地球市民”を育てます。

英語で考え、行動する、「ALL ENGLISH」の専門教育！

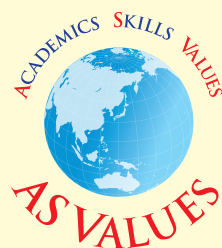
グローバル・コミュニケーション学科では、すべての学部専門教育科目が「All English」で開講されます。授業中に日本語を使用しないことで、英語で聞いた内容を英語で考え、さらに英語で発信する能力を身につけることが可能になります。世界の人々とコミュニケーションをとる場合、頭の中で英語を日本語に置き換えては、スムーズに会話はできません。また、自分のことや日本のことを説明する場面においても、日本語の言い回しを英語に置き換えるのではなく、英語特有の言い回しで発信しなければ、意味が間違っただけで伝わってしまふこともあります。

「All English」で学ぶ授業スタイルこそが、英語で考え、行動し、世界の人々と効果的にコミュニケーションをとるための能力を身につける近道なのです。



世界と日本の文化を知り、英語運用能力を磨くことで得られる、「AS VALUES」という価値！

「AS Values」とは、グローバル・コミュニケーション学科の学部専門教育科目で身につけられる価値のこと。「Academics」「Skills」「Values」の3つに分類される学びや、「All English」という環境から得られる学びを通して、英語で考え、世界の人々と共に行動ができる地球市民“Global Citizen”を育てます。



2016年4月メディアプロデュース学部は**創造表現学部**に

「表現力」「創造力」「コミュニケーション力」を高めることによって、豊かな自己表現の手法を身につけ、情報発信を通して社会問題を解決するチカラを修得します。

創造表現学部では、「言語」「メディア」「建築・インテリア」といった多様な表現領域についての知識や表現手法を学ぶことで、豊かな自己表現と情報発信によって実社会の諸問題にも適切な対処ができる人材の育成を目標にしています。そのために必要となるのが、専門的な知識やスキルに加え、「表現力」「創造力」「コミュニケーション力」の3つの力。これらを高め、さらに自らが情報発信できる能力を磨いていきます。

記念祝典・コンサート

名古屋フィルハーモニー・

小曾根 真(ジャズピアニスト)と本学学生・生徒が共演。

日時 2015年 8月23(日) 14:45開場 15:30開演

会場 日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

曲目 北爪道夫「愛知淑徳学園祝典序曲」
ガーシュイン「ラプソディー・イン・ブルー」
チャイコフスキー「交響曲第5番」

出演 指揮:川瀬賢太郎
ピアノ:小曾根 真

(ラプソディー・イン・ブルー)

管弦楽:名古屋フィルハーモニー交響楽団
愛知淑徳中学校・高等学校・大学の
オーケストラ有志(交響曲第5番)



記念誌の発行

愛知淑徳学園創立110周年
記念誌を発行。



愛知淑徳学園110周年 物故者追悼会

6月28日、学園の発展に尽力した功労者に改めて畏敬と感謝の
念を表すための物故者追悼式が東区の富永山養念寺にて
しめやかに開催されました。



追悼会 10:40~11:20

- (1) 導師入場
- (2) 開式の辞
- (3) 追悼の辞
- (4) 導師表白
- (5) 読 経
- (6) 焼 香
- (7) 導師退場
- (8) 閉式の辞